

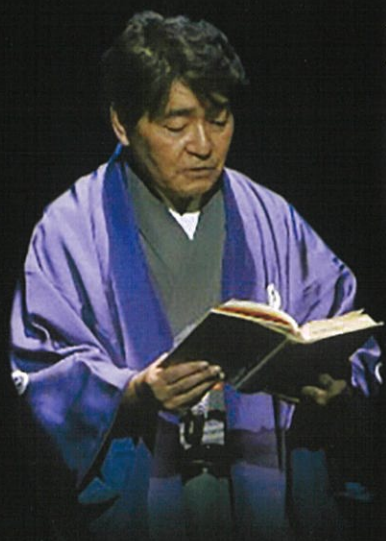
作 井上ひさし
演出 ふじたあさや
出演 中西和久

不忠臣蔵

酒寄作右衛門

より

ひと足先に冥府あのよにまいつておる。
かならずこの安兵衛を訪ねてくるのだぞ。よいな！



ふじたあさや×中西和久
アフタートークあり

2023年12/14(木) 18:30 開演 ◆18時開場

料金 (全席指定・税込) : 前売り 4,000円 当日 4,500円 チケット発売日 : 10/13

会場 : 久留米座

〒830-0031 久留米市六ツ門町 8-1
久留米シティプラザ

チケット取扱

情報サテライト (久留米シティプラザ2F) Tel 0942-36-3080 (販売窓口 10:00 ~ 18:00)
石橋文化センター (月休) Tel 0942-33-2271 (販売窓口 9:00 ~ 17:00)
【電話予約】カンフェティチケット・センター Tel 0120-240-540 (平日 10:00 ~ 18:00)
【WEB予約】 <http://confetti-web.com/fuchushingura> (お支払いはセブンイレブンで)



後援 : 柳川市、柳川市教育委員会、福岡文化連盟、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

「時は元禄十五年十二月中の十四日」

2018年暮れに東京・両国で初演した『不忠臣蔵』がいよいよ久留米座に登場します。私、ひとり芝居

の旅に出たのが1986年のことでした。筑後小郡を舞台にした自作のひとり芝居「火の玉のはなし」をもって日本列島を右往左往しはじめました。ちょうどその年に「吉川英治文学賞」を受賞したのがこの『不忠臣蔵』です。旅の空で、この一人称小説を読みながら「いつかは、いつかは」と思いつつ時間ばかりがすぎていきました。一昨年暮れ、朗読劇『時のふるさと〜古賀政男のいる風景』を上演した久留米座を私、みょうに気に入ってしまいました。それに、先日調べたら、師走の久留米座の12月14日だけがたまたま空いていました。

「討入り」の日です。これはやらざるまい! —— 中西和久

もう一人の〈反〉『忠臣蔵』作家 —— ふじたあさや (劇作家・演出家)

『忠臣蔵』が書かれたのは赤穂浪士の討入りから45年後である。その77年後、鶴屋南北は、赤穂事件の裏話として『東海道四谷怪談』を書いて、『忠臣蔵』をパロディ化した。さらにその155年後、『忠臣蔵』に異をとねるもう一人の作家が登場する。井上ひさしである。劇作家でありながら、南北に敬意を表してか、井上はこれを連作小説で書いた。ここには、忠臣になれなかった不忠臣、忠臣を装って生きる不忠臣、忠臣との関りを売り物にしている不忠臣など、さまざまな不忠臣が出てくる、その数19人。表と裏のある人物ばかりである。こういう人物を描かせると、劇作家は血が騒ぐ。小説として書いていながら、本音かと思えば建前、建前かと思えば本音といった体の言葉が飛び交って、読者を迷路に誘い込むという、堂々たる〈劇〉にしまった。そういう言葉をみると、今度は俳優の血が騒ぐ。唾をつけたのが小沢昭一氏である。その中の『酒寄作右衛門』をまず朗読したが、舞台化までは果たせなかった。弟子の中西和久がその志をついて、舞台化に踏み切ったのである。初演は2018年12月、吉良郡に隣接した回向院境内に出来たシアターX。井上ひさしと私は、ともに昭和9年生まれ。忠臣であることを強制され、軍国少年として育てられた我々にとって、〈不忠臣〉にこだわることの重さは尋常ではない。彼のその遺志を、演出家として繋いでいきたい。



中山千夏 (作家)

私が中西ファンなのは、演技の研鑽ぶりをたっぷり味わえる彼の芝居が楽しいからだ。観るたびに、その裏に積まれた長時間のさまざまな修行を垣間見て、満足する。この芝居は特に、新はラジオのDJから、旧は講談、落語まで、その修業の成果がぎっしり詰まっている。だから客席のみならずには、井上ひさし流のめくるめく筋だけでなく、中西の演技、ワザをこそ、ぜひぜひ堪能いただきたい。

〈スタッフ〉

作：井上ひさし 演出：ふじたあさや
音楽：高橋明邦 照明：田島康 音響：鈴木茂 謡曲指導：津村禮次郎
講談指導：神田松鯉 所作指導：古澤侑峯 茶道指導：三苦宗清
作り物：おかめ家ゆうこ 鳴り物：松田光輝 尺八：高橋慧山 月面撮影：蓮尾隆一
題字：赤松陽構造 協力：井上事務所

2023年 (18時開場)
12/14 (木) 18:30 開演

料金 (全席指定・税込)：前売り 4,000円
当日 4,500円

チケット発売日：10/13

チケット取扱：
情報サテライト (久留米シティプラザ2F)
Tel 0942-36-3080 (販売窓口 10:00 ~ 18:00)
石橋文化センター (月休)
Tel 0942-33-2271 (販売窓口 9:00 ~ 17:00)
【電話予約】カンフェティチケット・センター
Tel 0120-240-540 (平日 10時 ~ 18時)

【WEB予約】
<http://confetti-web.com/fuchushingura>
(お支払いはセブンイレブンで)



会場：久留米座

〒830-0031 久留米市六ツ門町 8-1 久留米シティプラザ
▷西鉄久留米駅から 徒歩約 10分、路線バス約 5分
▷JR 久留米駅から 徒歩約 20分、路線バス約 10分

京楽座
不忠臣蔵
より
酒寄作右衛門

中西和久

プロフィール

大牟田市出身。「芸能座」「しゃぼん玉座」で小沢昭一氏に師事し俳優修業。1977年『浅草キヨシ伝』(作：井上ひさし/演出：小沢昭一)で初舞台。主な舞台に『しみじみ日本・乃木大将』(作：井上ひさし/演出：木村光一)『中西和久のエノケン』(作・演出：ジェームス三木)『しのだづま考』(作・演出/ふじたあさや)の演技で文化庁芸術祭賞、松本市市民劇場最優秀俳優賞、ロシア・エカテリンブルグ国際演劇祭特別賞を受賞。同作品に加え、ふじたあさや氏との説経節三部作『山椒大夫考』『をぐり考』の上演が続いている。自作の『ピアノのはなし』も巡演中。福岡県文化賞、大牟田市制功労者表彰、春日市民文化賞等を受賞。近年は東京、大阪、福岡で「朗読教室」を開講中。テレビ/NHK『心はものに狂わねど〜中西和久説経節ひとり芝居』、ラジオ/KBC『中西和久ひとり日記』。日本朗読文化協会理事、大牟田大使、京楽座主宰。

『不忠臣蔵』チケット申し込み (京楽座福岡事務所) FAX 092-502-2321 (FAXの申し込み受付は、12/12まで)

お名前		枚数	枚	〈メッセージ〉
ご住所	〒			
ご連絡先	Tel	E-mail		

FAXでお申し込みの方は当日開演15分前までに受付においでください。前売り料金と引き替えにチケットをお渡しいたします。
京楽座福岡事務所 〒816-0831 春日市大谷9-40-606